

## 戦略コンサルティング 集団での経験が活きる 武藤真祐先生

こだまクリニック 木之下徹

今日の話、すごい。

先生の膨大な知識と、貴重な経験を通じ、（「自分が考える流れと人に説明する流れ」のスライドにあるように）極めて明解な話を聞いた。

めまいがするほど勉強になった。

ここ数年、たまたま企業のコンサルタントめいた仕事をしたり、あるいは自ら経営する会社内の案件で頭を痛めたりすることが幾度もあった。しかし自分の能力不足のために、いくつかは暗礁に乗り上げ、そのままになってしまった案件があったことを思い出し、さらに、それは自分のせいであったとも反省する。今日のこの話を知っていたら、また違った結果になっていただろうな、と思えることもあった。

この資料をこれから何度も読みなおし、どこまで身に付くかわからないが、いまの自分のテーマに沿って、再考したい。

「問題」の意味論や MECE を中心とするさまざまな方法論のしごく明解な解説には圧倒された。

しかし、その超絶技巧的説明をさらに凌駕するような、「あくまで方法論に拘泥するな」というご指導。そして（時間がなく詳細な説明を聞けずに残念であったが）最後の方の「大事なポイント」のスライドにある内容（志を高く持つ、全体感を持つ、まず行動する）には強烈なインパクトがある。

この部分が、生業を持つ（と思える）自分の人生、それをどう生きるか、ということに深く結びつく。コンサル企業に勤務された動機をご紹介された際に触れておられたが、自己実現や生きる意味を、社会の中で実りあるものにするための、さまざまな意味論や方法論、そしてそれ自体の考え方が提示されたように感じた。

完全なる感想文になってしまいましたが、今日のこの経験から、めまいがするほど儲かったら、武藤先生とお話を聞ける機会を設けてくださったゆきさまには、しっかりとお礼をさせていただきます。